

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回	権 利 擁 護	部 会	参 加 者 数	26 人	会 場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25 年	7 月	9 日 (火)				
主 題 マ	<p>1 部会長あいさつ</p> <p>2 今年度の方針(取り組み目標と活動計画の確認・検討)</p> <p>3 事例検討(2事例)</p> <p style="margin-left: 40px;">事例1について 事例2について</p>							
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会において、障害者差別解消法案が、衆議院内閣委員会で可決されるなど、権利擁護の動きが活発化してきている。気運の高まりを逃さず、部会としても成果が出るよう活動していきたい。 <p>2 について</p> <p style="margin-left: 20px;">今年度の取り組み目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上伊那地域の権利擁護課題把握に向けたデータ収集を行う。 ・部会としての「権利擁護事例集」作成に向けた取り組みを行う。 ・虐待の共通認識が必要だと思う。その上での事例集を作ってほしい。 Yes、Noではない事例集を作っていきたい。 <p style="margin-left: 20px;">目標達成への柱</p> <p style="margin-left: 40px;">障害者差別の解消</p> <p style="margin-left: 40px;">障害者虐待の防止</p> <p style="margin-left: 20px;">今年度の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者会の訪問、事例検討、アンケート、視察見学など、ご意見をいただきながら、進めていく。 <p>3 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ7～8名、3グループに分かれて事例検討を行い、検討結果を発表し合った。 ・就業・生活支援事例、虐待事例について話し合いをした。 							
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの事例検討を通して、障害者の権利擁護のあり方を考えるきっかけとすることができた。 ・今後も部会では事例検討をしていく予定。皆さんで話し合ってもらいたい事例等ありましたら、きりりあまでご連絡ください。 ・今年度の活動計画、「当事者の集まる場に部会員が直接訪問し、意見を聞く」の中で、データ収集にあたって協力してくださる方、大募集。きりりあまでご連絡ください。 							
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細は後日お知らせする。 							

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第2回 権利擁護 部会	参加者数	24 人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	25年 10月 7日(月) 13:30 ~ 15:30				
主 テ ー マ	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会長あいさつ 2 事例検討(生活・就業事例) 3 「当事者の集まる場に部会員が訪問し意見を聞く」活動について 					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法が可決成立し、平成28年4月施行予定。権利擁護の動きが活発化している。 ・部会としても情報を集めつつ、権利の問題を包括的にとらえ、活動していきたい。 <p>2 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提起された1つの事例に基づいて、グループワークを実施。 ・1グループ5名程度、5グループに分かれ、グループごとに3つの観点から事例検討。(約45分) ・各グループからの発表。 ・正副部会長からのコメント(福祉的観点及び法律的観点より)。 <p>3 について</p> <p>(1) 8/31(土) 長野県手をつなぐ育成会 療育キャンプ(南信会場)への参加報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者約20人。うち、当事者は2~3人。他は保護者。 ・講演の中で、参加者に成年後見制度と選挙についての質問を行った。 <p>ア 成年後見制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの参加者が関心を持っており、うち3名が利用を考えていた。 ・申し立てや費用、手続き等への不安を感じる声もあった。 <p>イ 選挙について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行く人もいれば、行かない人もいる。 <p>(2) 9/8(日) 在職者交流会でのアンケート (参加者8人)</p> <p>ア 7月参議院選挙について 行った 5人 行かない 3人</p> <p>イ 仕事の中で同僚や上司から言われて嫌だったことがあるか？</p> <p style="padding-left: 100px;">ある 6人 ない 2人</p> <p>ウ 工作中、大声を出されたり、怒鳴られたことはあるか？ ある 3人 ない 5人</p> <p>エ 仕事で困っていること、不安なこと</p> <p style="padding-left: 20px;">・職場環境がよくない(暑い等) ・対人関係のコミュニケーションのとり方 等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、権利擁護について当事者の声をきいていく予定。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討を通して、障害者の権利擁護について考えることができた。 ・当事者の生の声を通して、職場等での虐待や差別の問題について考えるきっかけとなった。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細については、後日お知らせする。 ・検討してほしい事例がありましたら、きりりあまでお知らせください。 					

25年度 自立支援協議会議事録

会議	部会名	第3回 権利擁護 部会	参加者数	26人	会場	福祉まちづくりセンター 2F 大会議室
	日時	26年 1月 17日 (金) 15:00 ~ 17:00				
主 題 マ	<p>1 障害者法制等に関する動きについて</p> <p>2 今年度の虐待防止センターの動き・現状・困り事等について</p> <p>3 事例検討：「本人同意が得られない中での支援について」</p>					
主 な 意 見 な ど	<p>1 について(矢沢部会長より)</p> <p>(1) 国連の障害者権利条約について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の国会での承認を受け、日本政府は、条約の批准手続きに入る。 ・手続きが進むことはよいが、中身が大事である。今後の動きに注視する必要がある。 ・大切なのは、障害者に関することを当事者抜きで決めないということ。これがゴールではなくスタートである。 <p>(2) 障害者の権利侵害(虐待)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉の入所施設で職員の暴行により障害者が死亡する事案が発生した。施設に預け、プロに委ねれば大丈夫と言えない事態であり、組織ぐるみの隠蔽もあった模様。 ・第三者の目をどう入れていくか、部会としても考えていく必要性を感じる。 ・障害者虐待防止法施行後、厚労省による初の調査で、障害者虐待が1391件あったとの報告もある。 <p>(3) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法整備は進んできているが、住民の障害者に対する理解が、法整備に追いついているのか考えさせられる。周知・啓発活動も部会として大切な役割ではないかと思う。 ・日頃からニュース等で情報を得て、気になることはどんどん協議し、必要なら県の自立支援協議会へも上げていく体制を今後作っていききたい。 <p>2 について(各市町村より)</p> <p>各市町村に設置されている虐待防止センターの今年度の動きについて、圏域の6市町村より報告があった。</p> <p>主な意見は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報を受け、初めて行政とつながったケースもあった。潜在的な虐待はまだ多いと思われるので、気になったら、どんどん相談してほしい。 ・同じところへの通報が2件あり、事実確認を行ったが、同じところへ2度足を運ぶのは行政としても入りづらい印象を受けた。対応のノウハウを蓄積していきたい。 ・相談窓口が、高齢者・障害者・児童で分かれている。連携のあり方や受身ではない対応のあり方について、今後考えていきたい。 ・迅速な初期対応やどこまでが虐待なのか、その判断の難しさを感じている。調査に入ることで、通報の事実が分かり、本人に不利益になる可能性のある事案もあり、慎重な対応も必要である。 ・人生相談のような通報もある。養育者による虐待の場合、それがしつけ・教育と思っている場合は、考え方を変えていく難しさを感じている。 ・虐待を教育ととらえる使用者もいる。小さな行政では対応できる職員数が限られている中、よりよい対応のあり方を考えていきたい。 <p>矢沢部会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護者が虐待をしつけや教育と思っているケースについては、部会としても啓発活動を進めていく必要性を感じた。 <p>3 について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提起された1つの事例に基づいて、グループワークを実施。 ・1グループ7名前後、3グループに分かれ、グループごとに3つの観点から事例検討を行った。 ・各グループからの検討結果の発表。 ・正副部会長からのコメント。 					
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・法整備の動きや市町村の虐待防止センターの現状と課題について、情報を共有することができた。 ・事例検討を通して、障害者の権利擁護について考えることができた。 					
次 回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、3回の部会を開催してきた。大勢の皆さんにご参加いただき、ありがとうございました。 ・来年度も、引き続き積極的なご参加をよろしく願っています。 					